

● 顕現後第八主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第一三〇編」

イスラエルよ、主よ待ち望め。

慈しみは主のもとに

豊かな贖いも主のもとに。

主は、イスラエルを

すべての罪から贖ってください。



## 真理に逆らえない人

主が十字架に付けられました。その日は準備の日で、翌日は過越祭の初日、さらにこの年は安息日とも重なっていたので、ヨハネは「この安息日は大いなる日であった」と記しています。

申命記には「死刑に当たる罪過があつて処刑され、木にかける場合、その死体を次の日まで木に残しておいてはならない。その日のうちに必ず埋葬しなければならぬ」とあります。そのため、ユダヤ人たちは大いなる安息日になる前に、処刑の加速措置として「足を折るよう」と願いました。

兵士たちは、主と一緒に十字架につけられた二人の男の足を折りました。主はすでに死んでいたため、足を折らず、兵士の一人が槍でわき腹を刺しました。すると、すぐ血と水とが流れ出しました。

ヨハネは「それらを目撃した者として、その証しは真実である」と述べています。「水と血が出た」という証言は、他の福音書にはなく、ヨハネの福音書にのみ記されています。

ヨハネは「骨を折らなかつた」、「彼らは自分たちの突き刺した者を見る」との聖書のことばが実現する「現場」において、それを見た証言であると言います。その神のことばの実現、救いの実現は、血と水が流れ出る凄絶なものであることを示しています。人の罪のために「代価」が支払われたとの事実、その凄絶さを目撃したのです。完全なる過越祭の子羊となられた主の肉と血を食する意義が、ヨハネの心に焼き付けられたのでしょうか。そして、それは過去の出来事ではなく、今の私たちが聞くべき証言として記されています。

その後、主イエスの弟子でありながら、ユダヤ人たちに恐れていたアリマタヤのヨセフが、主の遺体を取り降ろしたいとピラトに願いました。ピラトの許可を得たヨセフ、日没まで時間がありません。彼は亜麻布を用意し、急いで十字架に駆けつけたのでしょうか。ゴルゴダの近くに自分所有の新しい墓があり、そこへ主を納めるため、釘を抜き、茨の冠を外し、慎重に主の体を動かし、亜麻布で包み、墓へ運び、ユダヤ人の習慣に従って葬りました。

申命記21章には「木にかけられた者は神にのろわれた者」とあります。死んだ体に触れることは「汚れ」と定められ、「のろわれたもの」とされた者に触れることは、自らを汚すとも思われていました。過越祭の初日、安息日を控え、人々は清めの儀式を行います。「十字架につける」と叫んだユダヤ人たちが家に帰り、身を清め、大いなる安息日の準備を済ませたことしよう。一方で、アリマタヤのヨセフは十字架に赴き、木にかけられた主の体に触れ、葬つたのです。陰謀を計り、十字架につける叫び、今は清めの儀式を行っている彼らこそ、汚れたまま、自らの罪を飲み食いすることにならないでしょうか。

主はのろわれたものではなく、人の代わりにのろわれた者のように木にかけられたのです。「いけにえ」が聖なるものであるのは、罪や汚れがないが、罪人の代わりに罪人のようになつて死ぬからです。アリマタヤのヨセフは汚れたものに触れたのではなく、いけにえとなられた最も聖なるお方に触れたのでした。

このアリマタヤのヨセフに、三日後の主の復活、また主ご自身が現れてくださったことを思うと、空になった自分所有の墓を見たその幸いを思います。人を恐れず偽りを拒否し、真理に逆らえない道を選んだことが、報われたのではないのでしょうか。その後も勇敢に、世のものを失うことを恐れず、一層キリストの十字架と死に従い、真理と命の道を生きたのではないかと思います。

十字架は単なる記録ではなく、現実起こつた出来事です。本主に主の肉が裂かれ、血が流されました。神はそれを人のために「実行」されたのです。これは2000年前の過去の出来事ではなく、今私たちが見るべき事実を証言しているのです。

主が十字架を担ってくださいました。これはそのまま受け入れるに値する真理です。主が十字架を通して示された、逆らうことのできないその御心に一層捕らわれ、私たちが十字架という尊い、死んでも生きる道を、主が再び来られる日まで励んでいきたいと心から願います。

# 公 告

左記により、三月教会総会を開催いたします。  
現住陪餐会員はご出席下さい。

キリスト品川教会  
代表役員 黄允湜

## 記

日時 3月16日(日) 12時30分(目途)から  
場所 キリスト品川教会地下ホール及びリモート

## 議題

- 一 2025年度教会全体課題案に関する件
- 二 2025年度教会行事予定案
- 三 2025年度主日および週間集会予定案
- 四 2025年度教会一般会計予算案
- 五 2025年度地域センター会計予算案
- 六 2025年度グローリア・チャペル  
経費管理会計予算案
- 七 2025年度附属幼稚園会計予算案
- 八 2025年度グローリア・チャペル  
施設管理会計予算案

※議員資格満18才以上の現住陪餐会員。

(陪席)義務教育終了後満18才未満の現住陪餐会員  
と不在会員、教会員でない附属幼稚園教諭は、教会総  
会に陪席することができません。

(キリスト品川教会教規第3章第14条より)

## 2025年度

### 教会役員候補者

キリスト品川教会  
代表役員 黄允湜

教会役員会は次の11名を役員候補者として  
選考いたしました。

上原 利之	大友 初枝
角屋 貴良	神山 宣紀
川越 啓子	佐山 貴亮
高知尾 有里	三井 栄一
三原 穂積	山下 純一
山名 隆史	

## 《今日のお知らせ》

- 三月総会準備のための懇談会を地下ホールで行います。
- 運営委員会、各小委員会がそれぞれ行われます。
- 三月五日(水)から受難節(レント)に入ります。レントの  
ご挨拶とイースター献金袋は一週遅れて、次週配布予  
定です。

## 《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです

## 《役員会より》

教会員懇談会(総会準備)について下記の通りお知ら  
せいたします。

場所 地下ホール

時間 一二時三〇分開始

一三時三〇分～一三時四〇分休憩

一五時(目途)終了

三月総会資料と、先週二三日に配布された資料をご持参  
下さい。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇一三〇篇】

都に上る歌。

深い淵の底から、主よ、あなたを呼びます。

主よ、この声を聞き取ってください。

嘆き祈るわたしの声に

耳を傾けてください。

主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら

主よ、誰が耐ええましょう。

しかし、赦しはあなたのもとにあり

人はあなたを畏れ敬うのです。

わたしは主に望みをおき

わたしの魂は望みをおき

御言葉を待ち望みます。

わたしの魂は主を待ち望みます。

見張りが朝を待つにもまして

見張りが朝を待つにもまして。

イスラエルよ、主を待ち望め。

慈しみは主のもとに

豊かな贖いも主のもとに。

〔司・会〕

主は、イスラエルを

すべての罪から贖ってください。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「退けられるサウル王」

聖書 サムエル記上15章17〜23節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神さまは心を見られる」

聖書 サムエル記上16章5b〜13節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 137番 293番

説教 「真に光輝きを放つものは」

聖書 使徒7章17〜29節

説教者 宮間彰広兄





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 80番 154番  
説教 「空っぽになった墓」  
聖書 ヨハネ20章1～18節(新約 P.209)  
司式 山下 純一 兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師  
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「フーガ ハ長調」J.S.バッハ

### ○讃美歌80番

#### 1. わが主の御業はことごと正し

妙なるみむねに 凡てを任せん  
主はわが神なり ともしき時の  
わがたすけなり

#### 2. わが主の御業は ことごと正し

うえなき真理は とわに変わらじ  
暗きはひかりを よし隠すとも  
いかでか恐れん

#### 3. わが主の御業は ことごと正し

たえなる御旨を 今は知らねど  
忍びて待ちなば さ霧もはるる  
あしたはきたらん

#### 4. わが主の御業は ことごと正し

あらしの中にも 安けく憩わん  
主はわが父なり なやめる時の  
わがすくいなり

アーメン

### ○聖歌隊による讃美

「神こそはわが力」 Willian Henry Monk作曲

神こそはわが力

わが救い わが歌ぞ

み神はわが歌 み救いとなりたまえり

義の門(かど)を開きたまえ

わらは入りて 神に謝し

ほめ歌をささげん

石つくりの捨てたる石は

隅の親石となれり

今日ぞ 主のたまえるよき日

いざわれら楽しまん

われら喜びて 楽しまん

ハレルヤ アーメン

### ○讃美歌154番

#### 1. 地よ、声たかく 告げ知らせよ

きょうイエス君は よみがえれり

いのちの君は あまつ園に

われらを召して 入れたまえり

#### 2. とこよのひかり てりかがやく

みくらにいます 君を仰がん

あめより洩るる かちうたにぞ

地なるわれらも 声をあわせん

#### 3. あめよ、よろこべつちよ、うたえ

ものみなともに ほめたたえよ

イエス君きょうぞ よみがえられる

ああかぎりなき さかえの日よ

アーメン

聖餐曲「前奏曲ドリア調」F. ベーテルス

後奏曲「聖歌」E.エルガー

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。